

葛屋重三郎の功績

—歌麿・写楽・北斎を育てた手腕—

NHK大河ドラマ【べらぼう～葛重栄華乃夢噺～】で話題の葛屋重三郎について、浮世絵師との交流や制作された作品などを中心に、当時の出版事情にも触れながらおはなししていただきます。

日時 令和7年3月15日(土)

午後2時～3時30分

場所 中野市立図書館 2階 AVホール

講師 北斎館 学芸員 中山 幸洋 先生

定員 先着 50名

【講師紹介】

東京国際大学卒。中野市歴史民俗資料館の就業を機に学芸員資格を取得、のちに中野市立博物館の学芸員を務める。2018年、北斎館の学芸員になり展覧会や北斎研究所など学芸業務に携わる。近年では「新紙幣発行記念 北斎進化論」「東都遊覧—北斎と巡る江戸の町—」などの展覧会を担当。2023年には長野県立美術館主催「葛飾北斎と3つの信濃—小布施・諏訪・松本—」の北斎館担当として参画する。現在、事務局長兼学芸員。

※図書館駐車場が満車の場合は、高津急送様駐車場（図書館南側道向い）をご利用ください。

お問い合わせ

中野市立図書館

0269-26-5841